

## 商 業

### 1 学習指導と評価の改善・充実

教科「商業」の学習においては、経済社会やビジネスが常に変化する生きたものであることを念頭に置きながら、経済社会での具体的な事例を取り上げ、実際のビジネスについての理解を深めさせることや、思考力・判断力・表現力等を育成し、適切なビジネスを展開するための知識や技術、ものの見方や考え方などのベースとなる力を身に付けさせることが大切である。これらを実現するためには、様々な指導方法を取り入れ、実学の視点に立って授業改善に取り組む必要がある。

#### ○指導方法（手法）の例

##### 【ケーススタディ、ケースメソッド】

学習者が判断や対処を求められる模擬ケース（事例）を教材とし、考察や討論しながら意思決定や問題解決の実践力を磨くことを目的として開発された討論形式の授業。生きた経済社会やビジネスを取り扱う教科「商業」には有効である。

##### 【ディベート】

ある特定のテーマの是非について、否定側と肯定側に分かれて、立論と反駁を繰り返し、第三者を説得する形で議論を行う。ビジネスに対する理解を深め、多面的なものの見方や考え方を育てるには有効である。

##### 【知識構成型ジグソー法】

協調的な学習方法の一つであり、①問いを設定する、②問いを解くために必要な部品を説明する資料を用意する、③同じ資料を読み合うグループを作り、他のグループの人に説明するための活動を行わせる、④異なる資料を読んだ生徒を一人ずつ合わせてグループを作り、担当した内容を説明し、問いの答えを導き出す活動を行わせる、⑤答えとその根拠を全体に発表し、互いの発表を検討する活動を行わせる、という流れで授業を展開するもの。思考力、判断力、表現力を育てるには有効である。

評価に当たっては、目標に準拠した評価による観点別学習状況の評価を適切に行うことが重要である。生徒の学習状況の評価することは、自らの授業を評価することでもあることから、生徒の学習状況の評価を指導の改善に生かし、さらに新しい指導の成果を再度評価するという、指導に生かす評価を工夫するとともに、評価規準や評価方法についても絶えず見直しを行う必要がある。

### 2 「確かな学力」を育成する取組の改善・充実

次に、科目「ビジネス基礎」の内容(4)「経済と流通の基礎」のイ「ビジネスの役割と発展」において、ビジネスの課題について、具体的な事例を取り上げて考察させた指導例を示す。

教科「商業」においては、経済社会を取り巻く環境が大きく変化する中であって、商業教育が対象とする商品の生産・流通・消費にかかわる様々な経済的活動が、豊かな経済社会の形成と発展をもたらしていることについて理解させる必要があることから、本事例では、基礎的科目である「ビジネス基礎」において、生徒自らに考察、まとめ、発表させる言語活動を通して、経済社会の一員としての意識を高めることをねらいとしている。

### (1) 科目「ビジネス基礎」における単元の指導計画例

科目名	ビジネス基礎			
単元名	(4) 経済と流通の基礎 イ ビジネスの役割と発展			
単元の目標	<p>企業が行う経済的諸活動の総称であるビジネスの意義や役割について、身近な事例を取り上げて理解させる。また、我が国におけるビジネスの発展について、国際化や情報化など経済社会を取り巻く環境の変化と関連付けて理解させる。さらに、環境問題、エネルギー問題、食料問題への対応などビジネスの課題について、<u>具体的な事例を取り上げて理解させる。</u></p>			
単元の評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	<p>企業が行う経済的諸活動について関心をもち、ビジネスの意義や役割、我が国におけるビジネスの発展及びビジネスの課題について探究しようとしている。</p>	<p>ビジネスの意義や役割、我が国におけるビジネスの発展及びビジネスの課題について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、導き出した考えを表現している。</p>	<p>企業が行う経済的諸活動に関する資料を収集し、得られた情報のもつ意味を読み取り、整理している。</p>	<p>企業が行う経済的諸活動に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの意義や役割、我が国におけるビジネスの発展及びビジネスの課題について理解している。</p>
単元の概要	<p>ここでは、<u>環境問題、エネルギー問題、食料問題を取り上げ、グループでの考察などを通して、経済社会の動向に着目させるようにする。</u></p>			
単元の指導計画（全3時間）				
学習活動	言語活動に関する指導上の留意点			評価の観点 [評価の方法]
<p>第1次（1時間）ガイダンス ・環境問題、エネルギー問題、食料問題への対応など、ビジネスの課題について考察する。</p>	<p>・環境問題、エネルギー問題、食料問題への対応など、ビジネスの課題について、新聞、書籍、インターネットなどを活用して具体的な事例を収集させ、ワークシート1にまとめさせる。</p>			<p>【関心・意欲・態度】 ○行動観察 【思考・判断・表現】 ○ワークシート1 【知識・理解】 ○ワークシート1</p>
<p>第2次（2時間）グループワーク ・環境問題、エネルギー問題、食料問題への対応など、ビジネスの課題について考察、まとめ、発表を行う。</p>	<p>・各自がまとめたワークシート1を使用して、<u>グループで意見交流を行わせる。その後、グループでさらに考察した内容をワークシート2にまとめ、発表させる。</u></p>			<p>【関心・意欲・態度】 ○行動観察 【思考・判断・表現】 ○ワークシート2 【技能】 ○行動観察</p>

「単元の目標」「単元の評価規準」及び「学習活動」「評価の観点」が正対していることが重要である。

## (2) 科目「ビジネス基礎」における本時の学習指導案例

学 年	第 1 学年	単 位 数	2 単位	
単 元 名	(4) 経済と流通の基礎 イ ビジネスの役割と発展 (配当時間 3 時間)		グループワークによる考察、交流、まとめ、発表について、一連の学習過程の中で効果的に学習指導が行えるよう 2 時間続きの授業展開を想定している。	
単元の指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの課題の考察 (1 時間)</li> <li>・ビジネスの課題の交流、まとめ、発表 (2 時間)</li> </ul>			
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考察したビジネスの課題について、グループで意見交流を行わせ、さらにグループで考察した内容をワークシート 2 にまとめ、発表させる。</li> </ul>			
本時の展開	3 時間のうち 2、3 時間目			
段 階	指導内容	学習活動		評価の観点 [評価の方法]
		教師の活動	生徒の活動	
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の内容</li> <li>前時に個人で考察した内容について、振り返りの時間を持たせるよう工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に作成したワークシート 1 を基に、グループ内で意見交流を行わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を正確に伝える。それ以外の生徒は、自分の意見と他者の意見を比較する。</li> </ul>	
展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークについて</li> <li>自分の率直な意見を出せる雰囲気づくりや、決められた時間内にグループの意見がまとまるよう配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内の意見交流を基に、グループとして取り上げるビジネスの課題を決めさせる。また、その解決策について調べさせ、話し合わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題、エネルギー問題、食料問題から、グループとして取り上げるビジネスの課題を決める。また、その解決策について調べ、話し合いを行う。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を解決するためにビジネスとして企業が取り組んでいる事例については、新聞やインターネットなどを活用して調べさせるよう配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの話し合いを深めさせ、まとめた内容について、ワークシート 2 に記入させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの課題及びその解決策について、グループの考えをまとめ、ワークシート 2 に記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考・判断・表現</li> <li>○ワークシート 2</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ発表では、自分のグループと他のグループの意見を比較することによって、多様な視点からビジネスの課題や解決策について、理解を深めることにつながることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート 2 を基に、グループの代表者にグループの意見を発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表の生徒は自分のグループの意見を正確に伝える。それ以外の生徒は、自分のグループの意見と他のグループの意見を比較する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心・意欲・態度</li> <li>○行動観察</li> </ul>
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめ</li> <li>教師による講評は、言語活動を通して理解を深めたビジネスの課題と解決策について、職業人としての意識を高めるために必要なことであることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価シートに記入させる。</li> <li>・個人やグループによる考察、交流、まとめ、発表について講評を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価シートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価の観点については、目標の実現状況を判断するために具体的評価規準を設定し、生徒の学習活動をとおして現れる具体的な姿を評価するよう工夫する。</li> </ul>

### (3) 言語活動の取組を取り入れたワークシート例

#### ア ワークシート 1 (前時の取組)

ビジネスの課題について考えよう! ①

1年組 番氏名 \_\_\_\_\_

○ 次の課題から1つ選択し、調べた内容をまとめてみよう!

- 1 環境に関するビジネスについて、どのようなものがありますか?
- 2 エネルギーに関するビジネスについて、どのようなものがありますか?
- 3 食料に関するビジネスについて、どのようなものがありますか?
- 4 あなたが考える一番の環境問題は何ですか?
- 5 あなたが考える一番のエネルギー問題は何ですか?
- 6 あなたが考える一番の食料問題は何ですか?

※新聞、書籍、インターネットなどの資料を参考にして調べてみよう。

◎ 調べた内容をまとめてみよう! (発表用)

選択した課題の番号	4
参考とした資料	〇〇新聞(平成〇〇年〇月〇日) 〇〇のウェブサイト(URL: http:// _____)
私が考える一番の環境問題は、地球温暖化についてです。近年は、過去に例がないほどの大雨が突然降ったり、夏には異常な高温になるなど、急な気象の変化が相次いでいるからです。その原因は、人間の消費活動に伴う温室効果ガスの大量排出があるのではないかとされています。それは・・・	

※調べた内容は、次回の授業でグループ内で発表してもらいます。(3分程度)

ビジネスの課題として、環境問題、エネルギー問題、食料問題の3分野から、生徒の興味・関心や理解度に応じて、各2題ずつ課題を設定するよう工夫する。

新聞、書籍、インターネットなどの資料を参考にした場合は、入手した情報を活用する際の情報の信頼性を見極めることの重要性について配慮する。

#### イ ワークシート 2 (本時の取組)

ビジネスの課題について考えよう! ②

1年組 番氏名 \_\_\_\_\_

○ 「環境問題」、「エネルギー問題」、「食糧問題」の中から、グループとして取り上げる課題を1つ決め、その解決策について話し合ってみよう。

I 取り上げる「課題」を決めよう!

自分の意見	メンバーの意見	グループの結論	取り上げた理由
地球温暖化	・エネルギー価格の上昇 ・食糧自給率の低下	省エネルギーと代替エネルギーについて	限りあるエネルギーをどのようにしたら有効に使えるかを考えるため。

II 「課題」の社会的背景について意見を出し合ってみよう!

出された意見

- ・石油には限りがある。      ・太陽光発電が増えてきた。
- ・ハイブリットカーなどエネルギー消費を抑える商品が増えてきた。

グループの結論

わが国のエネルギー消費量は世界の中でも上位でもあるに関わらず、その供給のほとんどを海外からの輸入に頼っている。また、・・・

III 「課題」を解決するためにビジネスとして企業が取り組んでいることを調べてまとめてみよう!

- ・大規模な太陽光発電施設や風力発電のビジネス
- ・低燃費車や燃料電池車などを開発するビジネス

IV 話し合った内容をまとめてみよう! (発表用)

私たちのグループは、省エネルギーと代替エネルギーについて話し合いました。日本は、エネルギー消費大国でありながら、エネルギー資源のほとんどを輸入に頼っています。化石燃料等の資源は有限であり、またその消費で地球温暖化ガスが大量に排出されています。その・・・

グループでの交流を通して、様々な意見があることを認識し、ビジネスの課題や解決策について、多様な視点から考えるきっかけとなるよう記載項目に配慮する。

我が国の経済社会を取り巻く環境の変化について、企業を取り巻く事例などを示し、生徒が主体的に探究できるよう配慮する。

発表用のまとめでは、理解した事実を他者に的確に分かりやすく伝えることが大切である。そのため、ポスターセッションやプレゼンテーションソフトの活用などに対応できるよう配慮する。

#### (4) 授業評価を組み合わせた自己評価シート例

授業を振り返ってみよう！【ビジネスの役割と発展】  
1年組番氏名 \_\_\_\_\_

○ 単元「ビジネスの役割と発展」の学習について、あなた自身の学習活動と授業を振り返ってみよう。

※ 観点は、A（関心・意欲・態度）、B（思考・判断・表現）、C（技能）、D（知識・理解）になっています。  
※ 評価は、4（たいへんよくできた）、3（ややできた）、2（ややできなかった）、1（できなかった）の4段階で評価しよう。

学習内容	観点	自己の評価内容	評価
ガイダンス	A	授業に臨むに当たって、教科書を読むなど予習をしましたか。	2
	A	学習の目標がはっきり明示され、目標を理解して学習に臨むことができましたか。	3
	B	ビジネスの課題について、新聞、インターネットなどを参考に、具体的な事例を収集し、考察することができましたか。	4
	D	ビジネスの課題について、国際化や情報化など経済社会を取り巻く環境の変化に関連付けて理解できましたか。	1
	D	先生の説明が分かりやすく、板書も整理されていましたか。	3
グループワーク	A	学習の目標がはっきり明示され、目標を理解して学習に臨むことができましたか。	3
	A	他のグループの発表後、ビジネスの課題について新たに考えたことをまとめることができましたか。	4
	B	他者や他のグループの発表を聞きながら、自分なりの考えを持つことができましたか。	3
	C	ビジネスの課題について調べたことを他に分かりやすく説明することができましたか。	2

自己の評価内容については、生徒の授業に取り組む姿勢を問うなど自己評価に重点を置く内容と、教師の教え方など指導方法に重点を置く内容を配置するよう工夫している。

生徒には、単元の学習をより効果的に行うために、学習活動ごとに生徒自身に学習の状況を振り返えらせ、評価規準に照らして、自らの学習の到達状況を把握させることが大切である。

自己評価に「1」（できなかった）を付けた生徒については、グループ内の他の生徒と資料収集の方法について相談させるとともに、必要に応じて教師が適切な支援を行うことが重要である。

教師は、生徒の学習状況を把握するとともに、学習の到達状況に応じて、次の授業計画や授業のポイントを見直すなど授業改善を図ることが重要である。

### 3 体験的活動を取り入れた「確かな学力」を育成する取組

教科「商業」においては、商業の各分野で学んでいる基礎的・基本的な知識と技術を、実践的、体験的な学習を通して総合的に習得させることが重要である。このため、総合的科目である「課題研究」等において、これまで習得した知識と技術を活用し、商業の学びを地域に還元する活動を通して、自らの職業意識、職業観と規範意識、コミュニケーション能力等の実践力を高めることが必要である。

#### (1) 体験的活動による「キッズビジネスタウン」の取組例

キッズビジネスタウンは、児童、幼児が市民となり、皆で働き・学び・遊ぶことで、共に協力しながら街を運営し、社会のしくみを学ぶものである。基本的な流れは、市役

所で住民登録をし、ハローワークで仕事を探して仕事体験を行い、その後、給料を受け取るとともに所得税を納税し、タウン内で買い物を行うというプログラムである。

## (2) 科目「課題研究」等における指導計画の例

科 目	課題研究	内 容	キッズビジネスタウンを活用した経営学習
身に付けさせたい資質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの諸活動を主体的に考え、判断し、合理的に行う能力</li> <li>・発生する諸問題に対して解決する能力</li> <li>・地域や産業界との連携・交流を通じた実践的な能力</li> </ul>		
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズビジネスタウンの実施を通して、ビジネスに必要な知識・技術を学習する。</li> <li>・地域企業と連携し、担当する役割について指導ができるように学ぶ。</li> <li>・キッズビジネスタウンの各役割ごとに企画・立案・準備を行う。</li> <li>・キッズビジネスタウンの実施による成果と課題を明確にし、改善策を考える。</li> </ul>		
主な活動内容		指導上の留意点及び取扱い等	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズビジネスタウンの概要に関する学習</li> <li>・キッズビジネスタウンの流れについての学習</li> <li>・生徒によるシミュレーションの実施</li> <li>・シミュレーションの分析と報告書の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目「ビジネス基礎」の学習内容を基に、キッズビジネスタウンの仕組みについて指導する。</li> <li>・一連の流れを簡易的にシミュレーション化させる。</li> <li>・シミュレーションで学習した内容についてまとめを行い、会社（仕事）の準備や接客など、今後学習する内容について業務ごとに確認させる。</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業と連携し担当する役割に関する学習</li> <li>・役割分担の決定と担当する企業の事前調査</li> <li>・担当する企業へのジョブシャドウイング実習</li> <li>・ジョブシャドウイングのまとめと報告書の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力企業の担当者に授業内容を説明するよう指導する。</li> <li>・ウェブページ等を活用し、担当する企業を調査させる。</li> <li>・各業務で必要となる知識を考えさせ、ジョブシャドウイングに取り組ませる。（産業現場等の実習を含む）</li> <li>・ジョブシャドウイング終了後、報告書を作成させる。体験内容や注意事項をまとめさせ、小学生への効果的な指導方法について、各グループで討論させる。（特に自分たちがつまづいた点について）</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事ごとの企画と準備</li> <li>・仕事ごとの企画書の作成</li> <li>・企画書の内容について関係企業へのヒアリングの実施</li> <li>・小学校への説明会の実施</li> <li>・小学生への指導とロールプレイングの実施</li> <li>・会社（仕事）の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーションとジョブシャドウイングで作成した報告書を参考に、各業務（職種）で企画会議を行い、企画書を作成させる。</li> <li>・企画書の内容について、協力企業にインタビューを行い、企画書を訂正し、完成させる。</li> <li>・総務スタッフには、キッズビジネスタウン全体の運営を企画させ、小学校説明会を実施するよう指導する。</li> <li>・定期的に店長・ハローワーク・総務担当者による運営会議を行わせ、進捗状況等を報告させる。</li> <li>・企画書に基づいて会社を設立するよう指導する。</li> <li>・小学生に対し、仕事のロールプレイングを行わせるよう指示する。</li> </ul>	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施と反省</li> <li>・参加した小学生への調査</li> <li>・自己評価と報告書の作成</li> <li>・生徒対象の事後調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生に、働くことの楽しさ、喜びや大切さを体験させるためには何が常にかえさせる。</li> <li>・自己評価をワークシートで行い、報告書を完成するよう指導する。</li> <li>・参加した小学生にアンケート調査を行い、集計・分析させる。（参加した保護者に対してもアンケートの協力を依頼）</li> <li>・生徒対象のアンケート調査を行い、キッズビジネスタウンの成果と課題を明確にさせる。</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果発表会の実施</li> <li>・各種アンケート調査の集計と分析</li> <li>・プレゼンテーションの作成とリハーサル</li> <li>・プレゼンテーションの実施（地域パートナーシップ会議）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種アンケート調査の結果について分析させる。</li> <li>・グループごとに成果や課題を把握させ、改善すべき点について考察するよう指導する。</li> <li>・プレゼンテーションの様子を撮影した映像を見せ、プレゼンテーション技術を向上させるよう指導する。</li> <li>・プレゼンテーションを実施し、関係企業等からキッズビジネスタウンの課題等をインタビューし、次年度の計画に役立たせるよう指導する。</li> </ul>	

## (3) 活動のねらい

キッズビジネスタウンを準備したり、運営したりする高校生は、自らが担当する役割について深く学んだり、問題解決能力を養ったりすることができる。また、小学生にビジネスの仕組みや働くことの楽しさを教えることにより、自らの知識や考え方を育てることや、商業を学ぶモチベーションを高めることができる。